

掲載日:2013年8月30日更新



神奈川県知事として台湾を初訪問

ば えい きゅう
 ～馬英九 総統とも会談～



今年の7月、私は、神奈川の魅力を直接アピールするため、台湾を訪問しました。実は私も行くまでは知らなかったのですが、神奈川県知事が台湾を訪れるのは初めてだということでした。訪問中には、馬英九総統とも会談を行いました。

馬総統と日台共通の課題について意見交換

日本と台湾には共通する課題がたくさんあります。

まず、エネルギーの問題です。日本も台湾も地震が多い国土に原子力発電所を抱えています。周囲を海に囲まれているため、送電網をつないで電力を輸入するのは困難です。そこで、エネルギーをいかに安定的・持続的に確保するかが大きな課題です。私からは、神奈川県が「スマートエネルギー構想」を掲げ、再生可能エネルギーの普及に取り組んできたこととお話しました。「屋根貸し」[注1]というアイデアで太陽光発電を普及させているというお話もしました。馬総統にもたいへん関心を持って聞いていただき、エネルギー政策が台湾にとって本当に重大な関心事であるということがよく分かりました。

もう一つは、超高齢社会への対応です。私が提唱している“ヘルスケア・ニューフロンティア”について説明をしました。これは、急速に到来する超高齢社会を二つのアプローチで乗り越えようという神奈川モデルです。

一つ目は、最先端の医療や技術を追求して一人ひとりに合った個別化医療を実現し、最も効果的で効率的な医療を提供しようというアプローチ。

二つ目は、病気になってから薬で治すのではなく、医食農同源の発想で生活習慣を見直し、未病[注2]を治すというアプローチです。社会の急速な高齢化は台湾でも非常に大きな問題であり、馬総統には、神奈川の取り組みに強い関心を示していただきました。

会談は予定の時間を大幅に延長し、今回の対談をきっかけに、これからも意見交換をしながらさまざまな分野で協力していきましようという話になりました。



県レベルで台湾との交流を深めていきます

今回の台湾訪問は、台北市のデパートで開催した物産・観光展「かながわフェア2013in台湾」に合わせて、

神奈川の魅力を台湾の方々が大いに売り込もうというのがそもそもの目的でした。

台湾へは、これまで記者として何度か訪問していますが、久しぶりの訪問となった今回、街もたいへんきれいに整備され、経済的な発展を実感しました。

台湾の方々は、日本にとっても好感を持ってくださっています。今回も、日本のことが大好きだと口々に言っていただきました。台湾からの渡航先として、日本は、中国、香港に次いで3番目に多く、例年、100万人以上の方々が日本を訪れています。

今回の訪問をきっかけに、台湾との関係を県レベルでしっかりと深めていきたいと思います。そして、こうした交流の輪を広げていくことが、私の役割だと思っています。

神奈川県知事 志田祐澄

[注1] 屋根貸し:発電事業者に屋根を貸すことで費用をかけずに太陽光発電設備が設置され、賃料が入ってくるという、本県が全国自治体に先駆けて実施した仕組み。

[注2] 未病:健康と病気の中の緩やかな変化の中にある状態のこと。東洋医学には昔からある考え方。

[このページの先頭へもどる](#)

[県のたよりトップページへもどる](#)

神奈川県 県民局 暮らし県民部 広報県民課

〒231-8588 横浜市中区日本大通1
[電話]045(210)3662[ファックス]045(210)8834
[県のたよりに関する問い合わせフォーム](#)

神奈川県 このページの所管所属は [県民局 暮らし県民部 広報県民課](#) です。

[サイトポリシー・免責事項・著作権](#) | Copyright(C) -2010 Kanagawa Prefectural Government. All rights reserved.